

平成22年度 金沢市立城南中学校 教育活動の概要

1 教育目標達成のための具体策

(1) 本年度の重点事項(前年度の改題改善に向けての取組)

- ・生徒・保護者・教職員が力を合わせて協力し、豊かな人間関係を作り上げることで信頼を高めていく活動を工夫する。
- ・P D C Aサイクルを大切にした学校経営に努め、学校評価の向上に努める。
- ・「ことば力向上」をもとにした「読解力」と「活用力」をつけさせ、様々に応用できるような学習を工夫する。
- ・教職員の共通理解に基づく基本的生活習慣や学習規律の徹底に努める。
- ・不登校、相談室登校生徒や特別支援を必要とする生徒や境界にいる生徒への指導の充実を図る。
- ・生徒会活動やボランティア活動を推進し、自らが環境の美化に努め、潤いと暖かみのある教育環境をつくる。

(2) 子どもを育む行動計画(第二次)の具現化について

- ・数学科の少人数授業等きめ細かい授業や基礎・基本を大切にした「わかる授業」を展開して、学力の向上を図る。
- ・読書活動やリーディングタイムを継続し、豊かな心の醸成に努める。
- ・規範意識の向上を図るため、「絆」教育をすすめる、道徳教育の充実、「空き缶回収」などのボランティア活動を推進し、横のつながりを深め、部活動を通して縦のつながりの充実を図る。
- ・P T Aや地域とのつながりを大切にして、地域の人材を活用した諸活動をすすめると共に、小学校との連携を図り、生徒会活動を活性化し、「絆」教育をすすめる。

(3) 教員の授業力向上の取組について

- ・一人1回以上の研究授業の実施とともに、事前研修会、事後研修会の充実に努める。
- ・年間3回の学習強化週間を設け、学習規律の徹底を図り、学び合いのできる生徒の育成をめざす。
- ・校内研修会を月1回行い、各教科、各学年で研究テーマを設定し、3つの努力事項に向けた学力向上プランを作成し 達成に向けて努力する。

2 週時間割について

(1) 週時間割運用の特徴や工夫点

前期、後期で時間割を組み替える。1年生朝学習の時間に「ことばの時間」(総合的な学習の時間)を設定する。木曜6限(23年総合の時間)を3年の欠時調整の時間とする。

3 総合的な学習の時間について

(1) 名称 「総合的な学習の時間」

(2) 目標

- ・自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- ・学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えられるようにする。
- ・異文化への関心を高め理解すると同時に、自分の国や地域の文化や生活をより深く見つけることができるようにする。
- ・自然や生命を尊重する心を育て、人としてどう生きるかを考えることができるようにする。

(3) 内容

	内 容	主な学習活動	時数	時数の取り方
1年	○ことばの時間 ○金沢学びタイム ○国際理解 ○進路学習	・リーディングタイム(15) ・城南中学校を紹介する ・大連との交流について知る ・職業を調べる、適性を知る	50	火曜5限を中心に朝学習の時間と2時間続きの時間を活用する
2年	○ことばの時間 ○金沢学びタイム ○国際理解 ○進路学習	・メディアリテラシー(10) ・金沢の伝統文化を紹介する ・中国、大連市について知る ・キャリア体験、高校調べ	70	火曜5限を中心に木曜6限と夏季休業中の時間を活用する
3年	○ことばの時間 ○金沢学びタイム ○国際理解 ○進路学習	・様々な表現方法を学習する(10) ・大連市の中学生との交流 ・世界の諸問題について考える ・自分史、自己PRをつくる	70	火曜5限を中心に木曜6限とまとめ取りの時間を活用する

□地域の自然や伝統、文化等を生かした特色ある取組

- ・大連市友好交流校との交流
- ・ことば力向上をねらった「ことばの時間」の設定

4 選択教科について

※それぞれ該当するコース数。ただし、同じ内容で前期・後期に実施する場合は1コースとして数えてある。

1年	コース数	内容別コース数		
		補充	発展	課題
国語				
社会				
数学				
理科				
音楽				
美術				
保健体育				
技術・家庭				
英語				

2年	コース数	内容別コース数		
		補充	発展	課題
国語				
社会				
数学				
理科				
音楽				
美術				
保健体育	1	1		
技術・家庭				
英語				

3年	コース数	内容別コース数		
		補充	発展	課題
国語				
社会	1	1		
数学				
理科	1	1		
音楽				
美術				
保健体育	1		1	
技術・家庭				
英語				

1年生の生徒が履修する選択教科数	0
2年生の生徒が履修する選択教科数	1
3年生の生徒が履修する選択教科数	3

※生徒によって履修が異なる場合には、最も多く履修する教科数を記載してある。

5 通知表及び学習到達度連絡表についての予定

(1) 発行時期及び内容について

※発行予定月を記載し、種別及び内容の該当箇所には○をつけてある。

記載内容		発行	7月	9月	10月	12月	1月	3月	
種別	通知表として発行				○			○	
	学習到達度連絡表として発行		○	○	○	○	○	○	
内容①	教師からの観点別評価		○		○	○		○	
	教師からの評定		○		○	○		○	
内容②	教師からの学習についてのコメント		○		○	○		○	
	教師からの生活についてのコメント		○		○	○		○	
内容③	単元別テスト等の素点								
	定期試験の素点		○	○	○	○	○	○	
	教師からの単元別の到達度の表示		○	○	○	○	○	○	
内容④	生徒自身の学習についてのふりかえり		○	○	○	○	○	○	
	生徒自身の生活についてのふりかえり		○		○	○		○	

(2) 学習到達度連絡表についての工夫している点

学習到達度連絡表については、素点と共に各テスト範囲の単元名を記載し、単元ごとの達成度が表されているという意味合いをもてるように工夫する。

6 保護者や生徒との懇談(面談)について

(1) 実施時期及び形態、提供資料について

※実施月を記載し種類及び形態、資料の該当箇所には○をつけてある。

記載内容		実施	7月	10月	12月	2月	3月		
種別	保護者との懇談		○		○	○			
	生徒との面談		○	○	○	○	○		
形態	学校での二者懇談(保護者と教員)		○						
	学校での二者面談(生徒と教員)		○	○	○	○	○		
	学校での三者面談				○	○			
	家庭訪問		○						
資料 ①	通知表			○			○		
	学習到達度連絡表		○	○	○	○	○		
内容 ④	生徒のノート、レポート、テスト、作品等の具体的資料		○		○				

(2) 懇談(面談)について工夫している点

<ul style="list-style-type: none"> ・長期の休みに入る前に、生徒との懇談ができるように時間を確保する。 ・保護者懇談や家庭訪問については時間をかけてできるよう、夏季休業中に実施する。 ・12月は3年生だけでなく、1, 2年生も必要に応じて三者面談方式をとれるようにする。

7 学校評価について

※実施月を記載し種類及び対象、内容の該当箇所には○をつけてある。

			実施月	6月	7月	10月	1月	2月	
			自己評価		○		○		
外部アンケート	対象	保護者対象		○	○	○	○		
		児童対象			○		○		
		地域住民対象		○		○			
	内容	児童からの授業評価			○		○		
		保護者からの授業評価			○		○		
			学校関係者評価					○	

8 特色ある学校づくりについて

(1) 教科・道徳・特別活動等での特色ある教育活動

<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」の中に各学年で「ことばの時間」を位置づけている。ことば力向上を目指し、言語技術の習得・向上を図る。 ・全学年、全教科でグループ学習を活性化し、コミュニケーション力や活用力を伸ばす取り組みを実践する。
--

(2) 生徒指導・進路指導等での特色ある活動

<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝全職員が、週2回PTA役員と保護者が、玄関で挨拶運動に取り組む。 ・昼食時は副担もクラスへ行き、学担と共に昼食を取りながら昼食指導を行う。

(3) 体力づくり・健康教育に関する特色ある活動

<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業で行う5分間走。冬期間、全校で取り組むランニングタイム(20分間)

(4) 放課後や長期休業(サマースクール)等での学習支援

<ul style="list-style-type: none"> ・特に定期テスト前にユースサポーターを活用するなどして、補充学習や質問教室を各学年で実施する。・長期休業中には、一部の生徒を対象に、学校で学習支援を行う。

(5) 特別支援教育の充実に向けた取組

- ・教育相談部会を毎週水曜日 5 限に開催し、対象生徒の情報交換を行う。
- ・特別支援教育コーディネーターを中心に、個々に応じた支援を検討する。
- ・特別支援教育指導補助員と学年会が協力しながら、支援を実施する。
- ・必要に応じて対象生徒やその保護者との面談を行う。
- ・特別支援教育についての校内研修会を企画・運営する。

9 部活動等について

	部の数	加入者数			合計
		1年	2年	3年	
運動部	10	81	121	74	276
文化部	4	23	36	31	90
同好会等	3	1	1	4	6
加入率		100.0	95.2	83.2	92.5

※加入率は、各学年の在籍人数に占める部活動・同好会等の人数を小数第1位まで記載してある。

10 主な人材活用計画(加配による計画は含みません)

(1) スクールサポーターの活用計画

- ・音楽科の全学年の必修授業における能、箏、三味線の指導
- ・保健体育科1年における柔道の指導
- ・2, 3年の放課後補充学習(テスト期間中)

(2) 図書ボランティアの活用計画

- ・本の登録、整理、図書館の飾り付けなどを毎月1回定期的に行う。

11 開かれた学校づくりについて

(1) 小学校との連携する取組(時期及び内容等)

- ・年2(6月・12月)、校区内4小学校との連絡会を行い、協議・情報交換を密にする。
- ・11月に、校区内小学6年生を中学校に招いて、授業参観や部活動見学を実施する。

(2) 幼稚園、保育所(園)との連携する取組(時期及び内容等)

なし

(3) 高等学校と連携する取組(時期及び内容等)

- ・近隣の高等学校に対して、本校の行事や授業参観の案内を出す。

(4) 地域との連携する取組(時期及び内容等)

- ・地域と連携してアルミ缶回収を行う。(7月・10月)
- ・地域住民に対して文化発表会の案内を出して参観していただく。